

公開講座（2016年度前期・後期～2017年度前期）報告

浅川 陽子

はじめに

こどもコミュニケーション研究所が主催する「こどもコミュニケーションフォーラム」よりも規模は小さくなるが、少人数での濃いコミュニケーションを期待して、こどもコミュニケーション学科の教員が講義を担当する「公開講座」を2016年度より開始した。この事業の第1回から第3回について、本稿で成果と課題を総括する。

【事業の趣旨・目的】

近年、流山市では住環境の整備とともに子育て世代の住民が増え、市民の子育て支援・保育・教育への社会的関心が高まっている。子どもの成長や発達についての理解や、子育て支援にかかわるコミュニケーションなど専門的な知見が市民の学びの場で求められている。そのことは江戸川大学が流山市から委託されて実施している「子育て支援員研修制度」の講習講師などを行っているだけでも強く感じることである。

公開講座では、「子どもの発達や保育・教育」に関する最前線の研究者（大学教員）を講師として、研究・実践活動を紹介することにより、地域の子どもの保育・福祉・教育活動や子育て支援の充実・発展に資することを目的とする。

【会場】流山市生涯学習センター 研修室

【参加対象・人数】保育教育関係者，社会教育団体関係者，一般市民 約60人程度

【募集方法】事前申し込みの先着順 参加費無料
講座の1週間前まで（2回分という申込みも可）
一時預かり保育（2才～6才，6名まで）あり

【名称】江戸川大学こどもコミュニケーション研究所 公開講座

【メインテーマ】子ども・子育て・コミュニケーション

(1) 2016年度前期 第1回公開講座について
8月21日（日）12時30分～14時30分

①1時間目 子どもの発達・大人の発達

講師：大塚紫乃，専門：発達心理学

内容紹介：子どもから大人まで生涯に渡る発達を知ることで、子どもも大人もよりよく生きるヒントが得られます。

②2時間目 わらべうたで遊ぶ

講師：猶原和子，専門：音楽教育

内容紹介：一人で，親子で，みんなで遊べるわらべうた遊びはたくさんあります。聴いて楽しみ，声をあわせて楽しみましょう。

第1回講座の参加者は26名であった。

【参加者アンケートより感想や意見】

- ・地域の方々と一緒に研修を受けられてとても嬉しく思いました。子育て中の保護者の声や多数の方々と交流がもてて、とても良かったと思います。
- ・猶原先生のお話とても楽しかったです。大人が楽しむことがまず大事とおっしゃっている点はとても共感します。音楽以外でも遊ぶことを大人が心から楽しむと自然と子どもたちも心から楽しんでいくのが分かります。
- ・ついつい成長をせかすすぎて少しお兄ちゃんに無理をさせていた自分を反省できました。いつも子どもの応援団でニコニコ面白がりながら子育てを楽しんでいきたいな、いけたらなと思いました。
- ・心理学は、自分お仕事の仕方の根拠づけになるし、ためになりました。音楽は、子どもを連れてきて一緒に楽しみたかったと思うほど、楽しめました。幼児教育でこんな風に学べたら子どもは（私も!）幸せだと思いました。
- ・原因論・目的論の2つの側面を具体的に知ることで、今まで分かっているけれどと言う部

分がはっきりしたように思います。私はピアノという媒体を通して子どもを育てる立場ですが、一人ずつの成長が同じピアノを通してでも様々で、その子の“やりたい”“楽しい”と言う気持ちを育てることが何より大切だと思います。ですが、時に親御さんの気持ちありきのお子様を見ているとその興味を私自身の力で「子どもの気持ち」として“やりたい”となるまで育てることの難しさを感じます。そこが今回感じていることです。子どもには音を通して触れ合うことで成長する純粋な力があると感じます。

- ・分かりやすく心理学（こども）を学ぶことができました。音楽については大人でも楽しむことができました。
- ・①目的論の考え方は今までの自分の中にはない考え方だったので、今後の子育てに活かして生きたいです。②は本当に楽しかったです。何気ないことが子どもには大切だと分かりました。
- ・トーンチャイムを使った遊び、わらべ歌、身体を使った遊び等、楽しめてよかったと思う。孫たちとやってみたいと思う。
- ・原因論と目的論は頭では理解できますが、実際親にアドバイスをする場合難しいです。でも目的論の考え方をして相談者に向かいたいと思いました。
- ・音楽勉強になりました。大人も楽しむというところ、とても共感します。
- ・心理学のお話は事例等もう少し織り交ぜながらお話いただけるとありがたかったです。音楽の新しい楽しみ方を知ることができました、早速育児・仕事に活かしたいです。
- ・今日のお話を参考にして、子どもを支えながら子育てをしたいと思います。
- ・今の子どもたちは幼い頃から大人の価値観に合わせて生きてるように感じています。そんな子どもたちに子ども時代に必要なことをどのような形で体験させて上げられるか日々悩んでいました。いろいろヒントを頂きました。
- ・心理学では自分の考え方を振り返る良い機会と成りました。「なぜ叱る・褒めるではないか」という点については自分の仕事の場面を重ね

合わせてもう一度ゆっくり考えてみたいと思います。体丸ごとで音楽を味わおうでは、先生の心から音を楽しむ気持ちがとても伝わってきて、自分も楽しい時間が過ごせました（あと1時間くらい長くても良かったかも）。わらべ歌をもっと知りたいと思っています。

【参加者からの要望】

- ・次回もぜひ生涯学習センターで行って欲しいです。
- ・初めての試みということで、今後とも公開講座を開催して下さることを希望します。場所についてはやはり駐車場の確保は重要かと思えます。休日の講座は仕事を持っている方にはとても良いと思います。その場合、他でやっておられる子ども対象のサイエンス講座と抱き合わせだと親も勉強、子どもも勉強ができてよいと常日頃から考えています。子どもを留守番に置いてこないといけないう時があるので。
- ・保育つきの講義で助かりました。そして子どもも楽しめる内容で嬉しかったです。にぎやかでごめんなさい。
- ・仕事(子育て)をしながらかような子育ての勉強や保育の勉強や資格取得ができたらいいなと思っています。今日は来て良かったです。
- ・こういう時(例)はこのように対応がひとつとしてあるという具体例があるととても参考になります。講座についてもっと認知されるよう動くことが子育て中の母親方の1人ずつのパワーとなり、世界が広がっていくと思っています。素敵な音楽体験で、終わる頃心がスーッと透明になり、静けさを感じました。トーンチャイムやオルゴール、うちの教室にも導入したいです。素敵な響き！自己と他者の違いを心で感じるのに音楽の力は(小さい頃からの音楽体験)とても大切だと改めて思いました。
- ・何度かに分けてもっと深く学びたいです。場所はいろんな交通手段(車、電車など)が使えるところが助かります。
- ・偶然知った公開講座でした。できることなら保育園幼稚園等にもっとPRして欲しい。知らない人多いと思います。
- ・実技②がとても楽しかったです。今回は子ど

もと参加できなかったもので、子どもと一緒に参加できる実技②のような講座を開いて欲しいです。とても勉強になりました。今後もぜひ参加したいです。ありがとうございます。駅から近いので、生涯学習センターのほうが参加しやすいです。

- ・連続講座でつづけていただけたらと思います。また参加したいと思いました。ぜひよろしくをお願いします。
- ・無料でこんなに充実した内容にびっくりです！
- ・会場はこのような生涯学習センターのような施設だと助かります。
- ・土日だと仕事してても参加できてよい。母親の心理学（アンガーマネジメント等）も知りたい。
- ・“子どもたちの集団遊び”について。最近1～3人で遊ぶ子どもたちが増えているように感じています。
- ・今後もこのような企画がありましたら、参加したいです。

(2) 2016年度後期 第2回公開講座について

3月26日(日) 12時30分～14時30分

①1時間目：子育てに「もう遅い」はありません～どの子ども伸びる共有型しつけのススメ

講師：内田伸子，専門：発達心理学

対応テキスト：内田伸子著『子育てに「もう遅い」はありません』富山房，受講者にはご希望あれば特別割引で1000円で販売。

②2時間目 「絵本に親しむ」

講師：浅川陽子，専門：児童教育，絵本学

内容紹介：絵本は、勇気や平和など目には見えない大切なことを秘めている表現ジャンルです。大人だからこそ、絵本を読んで心に潤いと生きる力を！

第2回講座参加者はおとな29名、抱っこの赤ちゃん2名。

【公開講座の報告】朝から肌寒い雨が降る日曜日だったが、約30名の熱心な市民の方々の参加があり、研修室はあたたかい空気に包まれた。

まず、江戸川大学こどもコミュニケーション研究所顧問の内田伸子先生（お茶の水女子大学

名誉教授）『子育てに「もう遅い」はありません～どの子ども伸びる共有型しつけのススメ』では、女の子と男の子の性差と脳の発達の違いなど最新の知見を基にわかりやすくお話いただいた。

次に江戸川大学こどもコミュニケーション研究所長の浅川陽子による「大人だからこそ絵本を！」心に残るいろいろな絵本の紹介に「娘への読み聞かせだけでなく自分のためにも早速読みたい」など満足いただけた様子であった。次回を計画してほしいとの要望を受けて、これからもこどもコミュニケーション研究所では講座を継続していきたいと考えた。

【参加者アンケートより】

- ・内田先生のお話は、子育て真っ最中の母親としても保育者としても深く考える内容でした。特に我が子となると心に余裕がなくなり、強制……とまでいかなくとも指示型になりがちです。この状態とは私の心のゆとりに大きく関係があると反省です。
- ・浅川先生のお話では、たくさんの絵本ありがとうございました。もっともっと絵本のお話を聞いていたい心地よい時間でした。ハグのお話、子どもの幼稚園の先生にこんな話を伺いました。1日の中でハグを1回でストレスは30%軽くなる。1日のストレスと0%に近くするには30回のハグが良い。幼少期の子どもたちに、頑張る親子に、ぜひハグを！という話でした。ハグくまさん、私も読んで実践してみたいです。
- ・内田先生のお話を伺うのは初めてでしたが、最初から最後までとても興味深いお話で、聞くことができ感謝の気持ちでいっぱいです。5歳の女の子の空に帰った星のお話もサイコー!!でした。女の子と男の子の性差も脳の発達の違いや、種を残す女性の方がたくましいこともとても納得できることばかり。面白かったです。先生の話されていることを頭で考えているともう次の話題にいついていたので、ついていくのが大変でした。家に帰って復習します。本当にありがとうございました。
- ・浅川先生のご本、どれも好きになりました。じっくり手にとって読んでみます。流山の図書館でまず探します。心が喜んでます。いい

時間でした。

- ・「子育てにもう遅いはありません」
保育士として子どもの保育をしてきた私。母としてはどうだったかと反省です。今相談者としても仕事の中で、若い子育て中の母親に自信を持って“子どもと遊ぶこと”の大切さを教えて挙げられると思いました。
- ・ベネッセの教材は娘が生まれたときから使っているのです。内田先生のお話はぜひ生でお聞きしたいと思っていました。心にも頭にも響くステキな講演で感動いたしました。改めて帰ったら小1の娘を抱きしめて、一緒にたくさん遊びたくなりました。毎日悩みの連続でこれでいいのかな？ どうしたらいいのかな？と考えるとばかり、反省ばかりですが、子ども本意の自由な保育園で育ち、元気で人を笑わせることが大好きで、いろんな言葉を使う娘を少し誇らしく思いました（学校のお勉強は目をつぶることにします）。ありがとうございました。
- ・絵本は人生に3回楽しめる。本当にそうだと思います。小1の娘に読み聞かせをよくしていましたが、自分のためにも早速読みたい本ばかりでした。ありがとうございました。
- ・働きながら4歳8ヶ月の男女双子を育てています。とても大事な時期なのに間違った子育て「強制型」をしていることに気づけてよかったです。心に矢が刺さりました。今日から3日を肝に銘じて残りの子育て時間を楽しみたいと思います。言葉遣いも気をつけます。また、男の子と女の子の性差を踏まえて育児をしたいと思います。最後の締め言葉、心に染みました！いい講座だったので、ユーチューブであげてほしい。気づきと学びをありがとうございました。次回も開催して欲しいです。
- ・4歳の息子と0歳10ヶ月の娘がいます。子どものためにいろいろ考える日々ですが、様々な情報に迷うことも多いです。本日の講演では何を大切にすべきか、たくさん教えていただき、勉強になりました。
- ・幼児教育に大切な環境の要因として保育者の資質によるものが多いと感じます。保育者に対する教育などの必要性を感じるが、具体的

に各家庭に浸透するには時間、手間が掛かるが、先生はどのような活動をされているか知りたいです（本講座以外で）。

- ・今度小2（男）と保育園年少（女）になる2児の母です。息子の子育てに悩むことが多く、何かのヒントをいただけたらという思いで、参加させていただきました。仕事もしているため、子どもたちの話をゆっくり聞いてあげる時間があまりないと実感していましたが、少しの時間でもきちん向き合い、共有したいと強く思いました。体も精神も発達が遅めだと感じていましたが、男の成長はゆっくりなんだということを常に頭に入れ、いまだに抱っこを求めてきますが、できるだけ応じてあげたいです。夜、寝る前によくおはなしづくりごっこをしています（一文ずつ交替してお話を作っていく）楽しくて好きです。子どもたちの創造力を促すのに良いかと思ひ、続けていきたいと思ひます。今回のタイトル「子育てにもう遅いはありません」にひかれたので、もう少しお話を聞きたかったです。
- ・中学生女子と小学生男子の母です。2人が幼い頃、自営業をスタートさせ、夫婦で必死で、子どもたちのそばにいる時間が少なかったと反省しながら聞きました。共有型と強制型のお話も興味深かったです。今一番したいのは、家に帰って子どもたち（思春期入り口）と笑いながら話をしたいなと思ひました。絵本も全部ゆっくり読みたいです。ありがとうございました。
- ・仮説を立て、聞き取り等により事実をはっきりさせていただき、納得しました。自分自身が小さい頃から強制されるのがいやでやる気をなくしたりしたのと同じだと思ひながらお話を聞いていました。2人の子どもが独立してしまったので、自分の子どもには実践できませんが、いま子育てで悩んでいるお母さん方の力になれるようなことができればいいなと思ひます。教育は「人間への教育」というのではなく「生きていくものすべてが関わって、どう生かされるか、どう生きていくか」視点を大きく、小さく持ってやっていかねばと思ひました。日々が学習の毎日です。一人

- ひとりが大事にされ、していく世の中にしていかねばと思います。発達障害や精神病で差別をすることなく、その子がのびのびと生きていく世の中でありたいと思います。男の人たちにも聞いて欲しいし、見て欲しい会です。
- ・ 仕事をしています。保育園で広木克行先生の講演会があり、その時に内田先生の調査された研究内容について話を聞きました。内田先生の朝日新聞の記事も読み、いつかお話を伺ってみたいと思っておりましてところ、今回の江戸川大学公開講座を知り、申し込みさせていただきました。早期教育に対する熱は流山でもここ近年高まっており、それは、不安産業とも言える塾等の企業が利益を優先している結果だと思うのですが、内田先生のようにしっかりとした追跡研究で出された結果を大変分かりやすく話していただくと、誰もが納得できるのではないかと思います。Iの想像力の発達のお話は今まで子どもと接する中で、どうしてかな？と思っていた部分がクリアになり、改めて子どもの発達は待つことが大切と思いました。3H、ほめる、はげます、ひろげるを忘れずにいこうと思います。本日はありがとうございました。
 - ・ 私は普通の専業主婦ですが、もっともっと知りたくなり、勉強したくなりました。今、3歳10ヶ月の娘と0歳8ヶ月の娘がいます。習い事、幼稚園の保育内容、家庭での接し方、自分の考え方でとても悩んでいました。講座の内容をもっともっと理解したいです。子どものためならがんばれます。自分が育ってきた環境とは違う環境にしてあげたいのです。これは発達心理学というのでしょうか。とても面白いです。そして、自己分析も再度してみたいです。（自分の子育てに自信がないため）今後、このような講座を見つけたら全て出席したくなりました。
 - ・ 絵本を自分のために買おうと思ったことはなかったけれど、買ってみたいになりました。コルチャック先生、悲しい本が読みたいです。
 - ・ 大人の絵本もじっくり味わってみたいなと思わせていただき、たくさんご紹介頂き、嬉しかったです。本当にありがとうございました！

- ・ 浅川先生のお話もっと沢山聞きたいです。江戸川大学に行ってみたくになりました。きょう紹介いただいた本をこれから本屋さんで探します。
- ・ もっとお話を聞いていたかったです。私は現在保育士を目指して大学へ通っています。保育士を目指そうと思った理由は自分が今まで生きてきて、保育園で過ごした日々が最も楽しく輝いていたからです。私は自由保育という環境の中でのびのびとすごくことができました。そのおかげで救われたことが本当に多いです。今日の先生のお話にも強く共感しました。講座を終えて、学びたいという気持ちが強くなりました。ありがとうございました。
- ・ 早期教育について、幼稚園・保育園の学力の違いは気になっていたもので、とても参考になりました。ありがとうございました。

(3) 2017年度前期 第1回公開講座について

8月27日（日） 9時30分～11時30分

① 1時間目：村上涼 専門：臨床発達心理学

「子どもの思いやりの気持ちを育む心理学」
 内容紹介：思いやりの気持ちは、人間の生まれながらの力と関係していることが分かっています。最新の研究について映像を使って紹介しながら、どのように子どもが持つ生まれながらの力を思いやりの気持ちへ育てていくかについて講義します。出席者の皆さまと子どもの心理から、人間とは根源的に思いやりを持っているのかまで考える授業にしたいと考えています。

② 2時間目：我謝美左子 専門：社会福祉学

「子どもの“語り”を聴く力を磨こう—共感—」
 内容紹介：「できたこと」「できなかった」などに伴う「嬉しい」「悔しい」「悲しい」……という感情を子どもの立場に立って受けとめてくれる大人がそばにすることが、子どもにとって重要となります。そこで、子どもの身近にいる皆さんが、子どもの語りや感情表出を支えることができているかについて振り返る機会となれば幸いです。

2017年度は、流山市教育委員会の後援を受け

て、市内各小中学校の各クラスに、講座案内ちらしを配布するという広報活動を行った。また、申込みをWebで行うようにした。その結果、講座参加者は飛躍的に増えて90名定員を越えた。

【アンケート結果（回答者57名）】

① どのようにして知ったか（複数回答あり）
大学HP 4名、市などのHPや広報6名、地域新聞など7名、知人から6名、こくち一ず2名、学校からの配布物 30名

そのほか 5名(生涯センターのチラシ、ニュースサイト内広報など)

② 講座の内容は

とてもよかった32名 よかった22名
ふつう 2名

【参加者アンケート自由記述より】

- ・普段いろいろ考えながら保育することが難しいので、講座を通して振り返ることができた。
- ・子どもとのかかわり方を振り返ることができ、気づきもありました。
- ・「傾聴」「共感」という言葉が心に響いた。
- ・しばらく保育の現場から離れていたもので、改めて勉強する機会になってよかった。保育の現場にいた人はわかりやすかったかもしれないが、子育て中の父母には、少し難しかったかも。
- ・子育てに生かしたいという内容だった。(5)
- ・発達の視点と共感について学べて勉強になった。
- ・現在の子育てに即生かせる、具体的な話がきけて勉強になった。自分の子育ての悩みに参考になった。
- ・自分では子どもの気持ちを聴けているとおもっていたが、それは共感ではなく、同感していただけだったことに気付いた。
- ・具体的事例が入った講義でよかったです。
- ・共感の大事さ、共感と同感の違いなど、自分の関わり方を振り返るいい機会になった。
- ・共感、とてもいい勉強になりました。非言語も大切だったと思いました。
- ・共感の難しさを実感できるいい機会になった。
- ・とても充実した内容でよかったです。前半の心理学内容を踏まえての後半の講義というつながりがわかりやすくてよかったです。家庭・職場でいかしていきたいです。

・非認知能力が土台となることはとても納得いきました。現在の学習のみに力を入れる教育に？が多かったので、これからの子育て支援に役だてたいと思います。ロールプレイで“けんたくん”をしたことで、子ども目線で話をしましたが、自然と気持ちがでてきて、自分でもびっくりしました。傾聴の大切さを感じました。

- ・傾聴について実践的に学べてよかったです。
- ・育児の参考に思いやり行動をはぐくみたい。
- ・ロールプレイは良い体験だった。子育てに生かしたいと思いました。
- ・もっと早く聞きたかったと思いました。もやっとしていた疑問がきちんと整理された形で説明されて、これからどうしたらいいか、少しわかったような感じがします。
- ・非認知能力の大切さを知り、理解できてよかったです。後半は実践的な行動をしたので、日々の生活にいかして、子どもとのコミュニケーションをとろうと思いました。
- ・子どものことを考えて、口うるさく言ってしまったけれど、子どものためを考えると、今日から傾聴をがんばってみようと思います。
- ・思いやりの気持ち……赤ちゃんから思いやり行動の萌芽があるというのに驚きました。
- ・もう少し時間がたくさんあればよかった。
- ・子どもと接する仕事をしているので、もう少しつっこんだことをききたかった。
- ・対象者が広すぎたせいか、専門的すぎた気がする。
- ・ロールプレイは抵抗があったが、最後に納得できた感じがした。

③ 今後、どのような内容のフォーラムをしてほしいか

- ・親子で一緒に聴いてともに考えられる内容
- ・成長過程のフォーラム（家庭、家族、夫婦）
- ・小学生以降の心の動きや親のサポートの仕方。思春期の親の対応
- ・専門分野の研究（きょうのように）、それを子育てにどう生かすか

④ あなたの年齢

20代-2名、30代-18名、40代-28名、50代-4名、60代-3名、70代-2名

主催：江戸川大学こどもコミュニケーション研究所
共催：江戸川大学メディアコミュニケーション学部こどもコミュニケーション学科
後援：流山市

江戸川大学 こどもコミュニケーション学科 公開講座

メインテーマ：子ども・子育て・コミュニケーション

子どもの発達を知ることからはじめ、子どもを育てるより良い環境を考え、こどもとのコミュニケーションを深める技術を学びます。職場や家族とは違う「学びの仲間」と出会い、楽しく学んでみませんか？

対象：子育て中の保護者の方、保育園・幼稚園・小学校の先生方、
子育て支援に携わる方

受講料：無料

託児：あり ※お申し込みの際にご相談ください

会場：流山市生涯学習センター ※駐車場あり

定員：50名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

1回目

日時 8月21日(日) 12時30分～14時30分

会場 流山市 生涯学習センター1階研修室

プログラム

講演① テーマ「発達ってなんだろう
—子育てに役立つ心理学—」

講師：こどもコミュニケーション学科講師
大塚紫乃(専門：発達心理学)

「発達する」ということにどのようなイメージを持っていますか？さまざまな形の発達を知ること、個性を大切にされた育ちを見つめることができます。子育ての悩みを取り上げながら、心理学の視点から発達を考えてみましょう。

実技② テーマ「からだまるごとで
音を味わおう」

講師：こどもコミュニケーション研究所准教授
堀原和子(専門：音楽教育)

子ども時代を思い出しながら、わらべ歌やこどもの嗜好きだった曲を歌ってみませんか。身体を使ったボディパーカッションや、耳を澄まして聴きあうトーンチャイム、懐かしい響きの手回しオルゴールの曲づくりなど、からだまるごとで音を楽しむ企画がいっぱいです。お楽しみに。

2回目

日時 3月26日(日) 12時30分～14時30分

会場 流山市 生涯学習センター1階研修室

講演① テーマ「子育てに「もう遅い」はありません～どの子も伸びる共有型しつけのススメ」

特別講師：お茶の水女子大学名誉教授
内田伸子(専門：発達心理学)

対応テキスト：内田伸子著「子育てに「もう遅い」はありません」
富山書房

受講者にはご希望あれば特別割引で1,000円で販売します。

実技② テーマ「大人だからこそ、絵本を!!」

講師：こどもコミュニケーション学科教授
浅川陽子(専門：児童教育、絵本学)

今、絵本は乳幼児だけのものではありません。友情や平和、勇気や命など目には見えない大切なことを秘めている表現ジャンルです。子育てに悩む大人や、中高年向けの絵本も人気上昇中です。大人だからこそ、ゆっくり絵本を開いて、心に潤いを取り戻しましょう。そして、明日への希望を語り合しましょう。

■講師の紹介・申込書・お問い合わせ先は、裏面をご覧ください。



講師：大塚 菜乃

幼児の認知発達についての基礎研究を進め、幼児教育教材を発達心理学の視点から分析する応用的な仕事にも携わってきました。現在は、高齢者の認知機能に関する研究にも参加しています。



講師：猪原 和子

長い間、子どもたちと一緒に、合昭や合奏だけでなく、和太鼓やお囃子、ガムランなどの民族音楽を楽しんできました。「音楽に序列はない、どんな音楽様式も尊重すべき」モットーにしています。30人いれば30通りの音楽の楽しみ方があります。それをいかすと、とても大きな力になります。皆さんと一緒に、身体で音楽を表現していきたいと思っています。



講師：浅川 陽子

幼稚園や小学校の教員を約25年間勤めて、子どもの発達と学習について実践研究を重ね、それから私は、大学で教職をめざす学生さんと共に学びあう道を選びました。「疑問は研究の母」という言葉が好きです。なぜ？どうして？という子ども時代の気持ちをいくつになっても忘れずに、一生懸命考え学びあうのが大人って素敵だと思います。



特別講師：内田 伸子 氏

言語発達や認知発達の研究に従事し、ペネツセの『しまじろうパペット』考案、マルチおもちの監修、NHK「おかあさんといっしょ」の番組開発に携わるなど、多方面でご活躍されています。

江戸川大学こどもコミュニケーション学科 公開講座 申込書

以下についてご記入の上、FAXにてお申し込みください。

ファックス番号：04-7153-5904（江戸川大学 企画総務課）

メールの場合は、以下の事項を本文に記し、お申し込みください。

メールアドレス：soumu@edogawa-u.ac.jp

お申し込み締め切り 8月12日（金）（定員50名 先着順）

ご希望の回	<input type="checkbox"/> 両方 <input type="checkbox"/> 8月21日のみ <input type="checkbox"/> 3月26日のみ <small>（いずれかお選びください）</small>
お名前	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・父母・祖父母・子育て支援者・ その他（ ） ※いずれかに○をしてください。
ご住所	〒
お電話番号	（ ）
メールアドレス （あれば）	_____ @ _____ ※ 今後、フォーラムやイベントのお知らせをメールで配信してよいか 可 不可 <small>（いずれかお選びください）</small>
託児のご希望	あり なし <small>（いずれかお選びください）</small>

※ ご記入いただいた個人情報（氏名等）は、厳重に管理し、ご本人への連絡のために使用し、第三者への提供や譲渡を行いません。

お申し込み・お問い合わせ 江戸川大学企画総務課 〒270-0198 流山市駒木474
 電話：04-7152-9908 / FAX：04-7153-5904 / Eメール：soumu@edogawa-u.ac.jp

後援：流山市、流山市教育委員会

2017こどもコミュニケーション 研究所主催公開講座

子育て中の保護者（父母や祖父母）の方、保育所・幼稚園・小学校の先生方、子育て支援に携わる方々を対象に公開講座を開催します。

子どもの発達を知ることからはじめ、子どもを育てるより良い環境を考え、コミュニケーションを深める技術を学ぶ場として公開講座を開催します。職場や家族とは違う「学びの仲間」と出会い、楽しく学んでみませんか？

開催日：第1回 8月27日（日）、第2回 2月11日（日）

時間：各回9時30分～10時30分

会場：流山市生涯学習センター 4階研修室 ※駐車場あり

定員：90名

受講料：無料

申込みメ切：第1回8月20日（日）、第2回2月4日（日）まで。

※第1回のみ、第2回のみ、両方という申込み方ができます。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

託児：幼児（2～6歳）の一時預かりは500円でお受けしています。

要事前申込み・先着6名まで

1回目
8月27日
(日)

9時30分～10時30分

「子どもの思いやりの気持ちを育む心理学」

村上 源先生（専門：臨床発達心理学）

思いやりの気持ちは、人間の生まれながらの力と関係していることが分かってきています。最新の研究について映像を使って紹介しながら、どのように子どもが持つ生まれながらの力を思いやりの気持ちへ育んでいくかについて講義します。参加者の皆さまと子どもの心理から、人間とは根源的に思いやりを持っているのかまで考える授業にしたいと思えます。

10時40分～11時40分

「子どもの“語り”を聴く力を磨こう～共感～」

我謝 英左子先生（専門：社会福祉学）

「できたこと」「できなかった」などに伴う「嬉しい」「悔しい」「悲しい」…という感情を子どもの立場に立って受けとめてくれる大人がそばにいることが、子どもにとって重要となります。そこで、子どもの身近にいる皆さんが、子どもの語りや感情表出を支えることができているかについて振り返る機会となれば幸いです。

2回目
2月11日
(日)

9時30分～10時30分

「子育てを考えよう～我が家の小さな虐待を防ぐには」

金井 雅子先生（専門：児童福祉・臨床心理）

子どもが言うことを聞かないので叩いてしまった。上の子はかわいいのに下の子はかわいく思えない等、、、。子育てでよく起きる我が家の小さな「虐待」について、心理面・医学面・社会福祉面・法律面などの色々な角度から取り上げ、対応について一緒に考えてみましょう。子育てに悩んでいるママ、パパはもちろん、子どもにかかわる仕事をされている方にも参考になる講座を予定しています。

10時40分～11時40分

「大人も一緒に英語の絵本を楽しみませんか」

城一 道子先生（専門：英語教育）

本は聴くよりも自分の声で読むほうがずっと楽しい！なぜなら、ことばは口にしてこそ生き生きと感じ取れるものだからです。絵本を子どもと一緒に読む、自分の思いや感じたままをそのままに、英語ということばで誰かに語ってみたいことは、読み手の大人にとっても英語がぐっと身近に感じられる楽しい体験です。

■講師の紹介・申込書・お問い合わせ先は、裏面をご覧ください。



村上 涼 講師

これまで小学校教員や幼稚園教諭、保育士養成の大学で、心理学系の科目を教えてきました。米国では、臨床発達心理士として幼稚園や保育所を巡回して、保育者や保護者の相談を受けています。また、保健所で心理相談員として、保護者の子どもの発達や子育ての相談業務に携わってきました。



金井 雅子 講師

心理職で入社後、主に児童相談所等で児童心理司、児童福祉司として児童福祉の第一線で勤務してきました。これまで虐待・不登校・非行・障害等、深刻な状況にいる多くの子どもや親に関わってきましたが、今後はこの臨床経験を福祉現場で活躍できる人材育成にも生かしたいと考えています。



我謝 美左子 講師

児童福祉施設での長きにわたる実践をもとに、社会福祉士や保育士等を養成する大学で、社会福祉系の科目を担当してきました。現在は新修講師や第三者委員として児童福祉施設にはかがわり続けています。



城一 道子 教授

主に、中実の英語教科教育、早期英語教育を担当。卒業後、外資系会社勤務、総理府（現内閣府）主催の「两年の船」国際交流事業や帰国子女の外国語保持教室の運営、国際法律事務所勤務を経て、教壇に立って約20年になります。学生時代に母語習得のメカニズムに興味をもったことをきっかけに、外国語（英語）習得や学習のメカニズム、学習方法に強い関心をもつようになり、現在に至っています。

2017子どもコミュニケーション研究所主催公開講座 申込書

以下についてご記入の上、FAXにてお申し込みください。
ファックス番号：04-7153-5904（江戸川大学 企画総務課）

メールの場合は、件名に「公開講座」参加希望と明記し、以下の事項をご記入の上、お申し込みください。
メールアドレス：kodomoc@edogawa-u.ac.jp

※電話でのお申込み受け付けます。

お申し込み締め切り 第1回 8月20日（日）、第2回 2月4日（日）
（定員90名 先着順）

(1) お名前	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・父母・祖父母・子育て支援者・その他（ ） ※いずれかに○をしてください。
(2) 郵便番号・ご住所	〒
(3) お電話番号・メールアドレスなど	() @ ※メールアドレスご登録の方には、子どもコミュニケーション研究所より今後のイベント開催案内もお送りいたします
(4) 参加ご希望回	<input type="checkbox"/> 両方 <input type="checkbox"/> 第1回のみ <input type="checkbox"/> 第2回のみ (いずれかご記入ください)
(5) 同僚者数	
(6) 託児の希望	あり なし (いずれかお選びください) ありの場合は人数、年齢をご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報（氏名等）は、厳重に管理し、ご本人への連絡のために使用し、第三者への提供や譲渡をいたしません。

お申し込み・お問い合わせ 江戸川大学企画総務課 〒270-0198 千葉県流山市駒木 474
電話：04-7152-9908 / FAX：04-7153-5904 / Eメール：kodomoc@edogawa-u.ac.jp